

阿蘇北外輪の広大な原野の中にある熊本県草地畜産高等研究所。ここは、主として、高原地帯の草地畜産を開発し、地域営農の中核となる実践的後継者を養成する施設で、四十四年度から四十五年度にかけて県が建設した

もの。

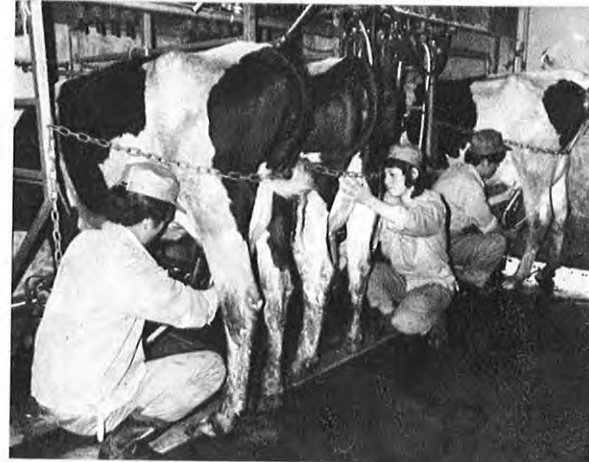
本年度は、二回生、五十人が目下入所中。寮生活をしながら若者たちは額に汗して酪農肉牛、草地などの学科や実習に取り組んでいる。



▲大西部を思わせる草原で草刈作業
▼畜産の専門的な学習にも熱がこもる



▲楽しい寮生活。ギターメロデーが青春を奏でる
▼早朝の乳しぼり実習が日課のはじまりだ



▲研修所が見える放牧場

編集後記 県政の動きと展望を総合的に伝えること。誰でも参加できて、みんなで県政を考える「場」となること。そこに結晶した衆知を県の施策に反映させていくこと。そして、親しまれ読まれること。…そんな気持ちから、広報誌「暮らしと県政・熊本」を創刊しました。あなたと県政を結ぶ「接点」になれば幸いです。

創刊号のメインテーマとしては、当面の重点施策のひとつである「美しい熊本づくり運動」をとりあげ、沢田知事を中心に基本的な問題を話しあってもらいました。行政の側も住民の側も共に耳を傾けねばならないことが

多いようです。なお、美しい熊本づくり運動については、年間企画で毎号いろいろな角度から取りあげていきたいと思ひます。

また、次号以下のメインテーマとして、熊本市圏づくり、地域農業計画、公害対策、新県計画などを予定しております。

あなたの県政に対する具体的建設的なご意見をお寄せ下さい。随想なども結構です。

ご愛読とお引き立ての程をよろしくお願ひ申し上げます。

なお、表紙の題字デザインは二科会審査員の森 周平氏に委嘱したものです。